



[ お問い合わせ ]

奈良女子大学ダイバーシティ推進センター

Mail [diversity-center@cc.nara-wu.ac.jp](mailto:diversity-center@cc.nara-wu.ac.jp)

<https://diversity-center.nara-wu.ac.jp/>

文部科学省科学技術人材育成費補助事業

## ダイバーシティ研究環境実現 イニシアティブ(牽引型)



奈良から、関西から、女性研究者の支援を牽引  
～全国に広がれ!ダイバーシティの取組～

### キックオフシンポジウム

*Kick-off Symposium*

2020年  
2/27<sub>木</sub>

報告書



# はじめに

2019年度に、国立大学法人奈良女子大学を代表機関として、独立行政法人国立高等専門学校機構奈良高等工業専門学校、学校法人武庫川学院武庫川女子大学、株式会社プロアシスト、帝人フロンティア株式会社、佐藤薬品工業株式会社は、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に選定されました。この事業の開始にあたり、私たちの決意と取組内容を、関係機関をはじめとした多くの大学研究機関に知っていただきたく、2020年2月27日に、キックオフシンポジウム「奈良から、関西から、女性研究者の支援を牽引 ～全国に広がれ!ダイバーシティの取組～」を奈良女子大学の記念館で開催しました。

この事業は2019年9月27日に交付決定されてからまだ5カ月ですが、それぞれの機関はさまざまな取組を進めるために、すでに大きく動き出しています。共同で実施する機関は、関西圏の、国立女子大学、私立女子大学、高専、企業(大阪と奈良)と多様ですが、いずれもダイバーシティの意識が高く、これまで独自の活動を進めてきました。今後は、さらに高い目標を設定し、優れた取組を実践していきます。それぞれの機関が培ってきたダイバーシティの取組や考え方についての情報を共有し、多様性を認めながらも、それぞれの個性を活かし、自然に活用できるダイバーシティ・マネジメントの高い段階を共に目指します。すでに一部の取組については共同利用を開始し、今後は女性研究者賞や共同研究への研究費支援なども共同で行っていくこととし、その準備を進めています。

これから6年間の実施期間に向けて活動を開始したこの時期に、本キックオフシンポジウムを開催しました。主催者の挨拶のあと、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)プログラム主管の山村康子さまには基調講演をいただき、ダイバーシティ・マネジメントの段階やその推進における日米の比較、日本のダイバーシティ推進状況等について貴重なお話をいただきました。要旨はこの報告書にまとめておりますので、どうぞご覧ください。続いて6機関のそれぞれから、取組内容の紹介とともに掲げた数値目標の達成に向けて決意を表明いたしました。詳しくは、報告書のそれぞれの機関のページをご覧ください。また、外部評価委員の先生方には最初の年から本事業に関わっていただき、評価をいただいて早めに改善につなげられるようにと考え、今回のシンポジウムでも外部評価委員の相馬芳枝さまにご講評をいただきました。

ここにキックオフシンポジウムの報告をさせていただきます。私たち6機関の決意とこの事業にかける意欲をご覧いただければと思います。今後ともどうかみなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020年3月吉日

ダイバーシティ推進センター 副センター長 春本 晃江

Kick-off Symposium

## キックオフ シンポジウム

奈良から、関西から、女性研究者の支援を牽引  
～全国に広がれ!ダイバーシティの取組～

## 報告書



### 目次

#### ● 主催者挨拶

- ・奈良女子大学 学長(ダイバーシティ推進センター長)  
今岡 春樹氏 ..... 6
- ・奈良工業高等専門学校 校長 後藤 景子氏 ..... 7
- ・武庫川女子大学 副学長・男女共同参画推進室長  
河合 優年氏 ..... 7

#### ● 基調講演

- 「ダイバーシティ・マネジメントの推進へ向けて」  
国立研究開発法人科学技術振興機構 プログラム主管  
山村 康子氏 ..... 8

#### ● 各機関の取組紹介

- ・国立大学法人 奈良女子大学 ..... 10
- ・奈良工業高等専門学校 ..... 15
- ・武庫川女子大学 ..... 19
- ・株式会社プロアシスト ..... 22
- ・帝人フロンティア株式会社 ..... 25
- ・佐藤薬品工業株式会社 ..... 28

#### ● 閉会の挨拶

- 奈良女子大学 理事・副学長(研究・情報担当)  
藤原 素子氏 ..... 33

#### ● 来場者アンケート結果 ..... 34

2019年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)



Kick-off Symposium

# キックオフ シンポジウム

奈良から、関西から、女性研究者の支援を牽引  
～全国に広がれ!ダイバーシティの取組～

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業では、  
女性研究者がその能力を最大限に発揮できるよう、ライフイベントとの両立や研究力向上を支援するなど、  
研究環境のダイバーシティ実現に向けての目標・計画を掲げ、いくつもの取組を進めます。

## 基調講演

「ダイバーシティ・マネジメントの推進へ向けて」

国立研究開発法人 科学技術振興機構 プログラム主管(プログラムオフィサー)

講演者 **山村 康子氏**

2020年  
**2/27**木

奈良女子大学  
記念館 2階講堂

シンポジウム 13:00～17:05  
情報交換会 17:15～18:30

- 主催者挨拶
  - 奈良女子大学 学長(ダイバーシティ推進センター長).....今岡春樹
  - 奈良工業高等専門学校 校長.....後藤景子
  - 武庫川女子大学 副学長(男女共同参画推進室長).....河合優年
- 各機関の取組紹介
  - 奈良女子大学 副学長(男女共同参画担当).....春本晃江
  - 奈良工業高等専門学校 教授(男女共同参画推進委員会委員長) 松村寿枝
  - 武庫川女子大学 教授(女性研究者支援センターアドバイザー) 福尾恵介
  - 株式会社プロアシスト 代表取締役社長.....生駒京子
  - 帝人フロンティア株式会社 人事部長.....吉村慶夫
  - 佐藤薬品工業株式会社 取締役総務部長.....若竹紀子
- 閉会挨拶
  - 奈良女子大学 理事・副学長(研究・情報担当).....藤原素子
- 情報交換会 **会費制**

シンポジウム  
**参加無料**

**無料  
託児有**  
[要申込]

主催:奈良女子大学、奈良工業高等専門学校、武庫川女子大学  
共催:株式会社プロアシスト、帝人フロンティア株式会社、佐藤薬品工業株式会社

## Program



13:00	開会
13:00～13:15	主催者挨拶 ●奈良女子大学 学長(ダイバーシティ推進センター長).....今岡春樹 ●奈良工業高等専門学校 校長.....後藤景子 ●武庫川女子大学 副学長(男女共同参画推進室長).....河合優年
13:15～14:20	<b>基調講演</b> (講演60分+質疑応答5分) 「ダイバーシティ・マネジメントの推進へ向けて」 講演者 国立研究開発法人 科学技術振興機構 プログラム主管(プログラムオフィサー) <b>山村 康子氏</b>
14:20～14:30	休憩
14:30～15:35	各機関の取組紹介① (各機関20分+質疑応答5分) ●奈良女子大学 副学長(男女共同参画担当).....春本晃江 ●奈良工業高等専門学校 教授(男女共同参画推進委員会委員長) 松村寿枝 ●武庫川女子大学 教授(女性研究者支援センターアドバイザー) 福尾恵介
15:35～15:45	休憩
15:45～16:50	各機関の取組紹介② (各機関20分+質疑応答5分) ●株式会社プロアシスト 代表取締役社長.....生駒京子 ●帝人フロンティア株式会社 人事部長.....吉村慶夫 ●佐藤薬品工業株式会社 取締役総務部長.....若竹紀子
16:50～17:00	講評
17:00～17:05	閉会挨拶 ●奈良女子大学 理事・副学長(研究・情報担当).....藤原素子
17:15～18:30	情報交換会

参加される方は、当日シンポジウム受付にて会費を現金でお支払いください  
●会費:2,000円 ●会場:S棟1階 ラウンジ



お申込方法 下記申込Webサイト、もしくは、メールにてお申込みください

申込Webサイト <https://forms.gle/AnJLM5CzaiEP7M9g6>

Mail [diversity-center@cc.nara-wu.ac.jp](mailto:diversity-center@cc.nara-wu.ac.jp)

[メールでのお申込みの場合は、下記の内容をお知らせください]  
●タイトル:キックオフシンポジウム参加申込  
●本文:①お名前(ふりがな) ②ご所属  
③ご連絡先(メール・電話番号) ④情報交換会へのご出欠  
※託児ご希望の方は以下の内容についても、お知らせください。  
⑤お子様のお名前 ⑥お子様の生年月日

参加お申込み締切:2月20日(木) / 託児お申込み締切:2月13日(木)

お問い合わせ 奈良女子大学ダイバーシティ推進センター  
・TEL 0742-20-3344  
・Mail diversity-center@cc.nara-wu.ac.jp

奈良から、関西から、女性研究者の支援を牽引  
～全国に広がれ!ダイバーシティの取組～

# キックオフシンポジウム

Kick-off Symposium



近鉄5番出口 近鉄奈良駅 近鉄奈良駅 5番出口より徒歩5分

## 主催者挨拶



奈良女子大学 学長(ダイバーシティ推進センター長)  
今岡 春樹氏

2019年度に奈良女子大学を代表機関として、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に採択されました。奈良工業高等専門学校、武庫川女子大学、株式会社プロアシスト、帝人フロンティア株式会社、佐藤薬品工業株式会社と共に、6機関が連携して取組を進めることとなります。

奈良女子大学は基本理念の第一に「男女共同参画社会をリードする人材の育成」を掲げており、平成17年度に男女共同参画推進室を設置し、平成18年度には文部科学省科学技術振興調整費による女性研究者支援モデル育成事業、平成22年度には女性研究者養成システム改革加速事業に採択され、研究環境整備や女性研究者の研究力向上、女性教員比率の向上、意識啓発等を推進してきました。本事業の目玉の1つは「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築ですが、その他、女性研究者の研究力向上、女性教員の上位職への登用促進などを進めてまいります。新たな取組を制度化して行っていきたく思います。そして協力機関を含めた関西圏の機関に、これらの取組を普及させたいと考えています。みなさまのご協力をお願いいたします。

## 奈良工業高等専門学校 校長 後藤 景子氏



奈良高専は本事業の共同実施機関として、タイプの異なる6機関で連携して取組むこととなります。全国国立51高専は、主に50年以上前に地域産業への貢献を主な目的として設置されました。15歳から5年一貫のエンジニア人材養成を行っており、工学系の教育・研究やその成果を生かした社会実装に軸足を置いております。高専では、女性教員比率が約1割、女子学生は2割強ですが、男女共同参画推進に向けての意識と実践力は高いと思っています。平成27年度に高専機構として、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)に採択され、全国の55キャンパス同居支援プログラム、女性研究者の裾野拡大プログラムや女性研究者のRe-Start研究支援プログラムなど、多くの活動を行ってきました。この事業においても、女性研究者・技術者の裾野拡大、地域産業の活性化を推進するための研究環境の整備や、女性研究者の研究力向上、意識啓発を進めたいと思っています。奈良高専の規模は小さいですが、全国の高専55キャンパスに横展開すれば、ダイバーシティ研究環境実現の大きな力となると思っています。

今年度は、女性研究者や若手研究者のための研究支援員制度、優秀な女性研究者の研究費支援、リーダー養成セミナー、研修会や講習会の開催・参加などを行ってきました。また、近畿地区高専産官学マッチングフェアを開催して、女性研究者の活躍やダイバーシティ推進の取組について報告させていただきました。これらの事業はHPなどを通じて発信しております。

来年度以降もこれらの取組を継承すると共に、他の共同実施機関と連携して、保育システムの共同利用や、女性研究者の上位職への登用・女性研究者の採用を計画しています。今後とも共同実施機関が一体となった事業を展開して参りたいと思います。



## 武庫川女子大学 副学長・男女共同参画推進室長 河合 優年氏

昨年、武庫川女子大学は創立80周年を迎えました。2020年4月には10学部7研究科となり、女子大学としては全国屈指の総合大学に成長いたします。武庫川学院の創立記念日は一昨日の2月25日でした。90年100年に向かうスタートの記念すべき年に、このような事業に参加させていただくことを非常にうれしく思っています。

本学院は、理系は理系として存在するだけでなく、そこに文化や芸術などさまざまなものが融合していく文理融合の教育を実践することを目指しています。また、この4月から女性活躍総合研究所が設置されます。更なる研究基盤を確固としたものにし、女子総合大学としての強み、女子を教育する機関としての強みを活かし、女性が活躍できる環境実現を目指すこの事業に参加したいと考えております。

# 「ダイバーシティ・マネジメントの推進へ 向けて」

国立研究開発法人科学技術振興機構  
プログラム主管

山村 康子氏

国立研究開発法人科学技術振興機構のプログラム主管、山村康子氏より、「ダイバーシティ・マネジメントの推進へ向けて」と題する基調講演が行われた。長年、日本では長時間労働が当たり前であり、長く働くことが美德とされてきたが、少子化の影響もあり労働人材が量的・質的にも減少し、若い世代の意識・価値観が多様化してきている。このような中で、新たな創造性、新しい取り組み、新しい考え方を構築する人材を確保するためにダイバーシティ・マネジメントが益々必要となってきたことを述べられ、ダイバーシティ・マネジメントの先進国である米国の事例と日本国内における様々な取組を紹介しながら、ダイバーシティ・マネジメントについて解説された。

## 1 ダイバーシティ・マネジメント (ダイバーシティ&インクルージョン)

ダイバーシティ及びダイバーシティ・マネジメントの定義の説明があり、ダイバーシティ・マネジメントの先進国である米国の歴史の変遷の紹介をされ、米国に10年ほど遅れて取組が進められている日本では、組織の多くが現在、「多様性尊重(違いの存在を認めるが、その活用にまで至らない段階)」の段階であり、真の意味のダイバーシティである「統合」に至るにはまだ段階があることが説明された。

## 2 マサチューセッツ工科大学(MIT)における ダイバーシティ・マネジメントの推進

ダイバーシティ・マネジメントの取り組みが成功し、女性教員及び女子学生の割合が増加、大学院生・教員の選考においても女性が積極的に採用されるようになり、教員の性別による平均給与の差もほぼなくなったMITの事例を紹介された。

## 3 米国の女性研究者・技術者育成プログラム

米国では国をあげて女性研究者・技術者の育成に取り組んでおり、20年間でScience, Engineering, Health関連職種に就く博士号取得者の女性の割合が大幅に増加したことを紹介された。

## 4 日本政府による 女性の活躍促進に向けた目標値の設定

日本でも女性活躍促進に向けた様々な法律が施行されてきたこと、2015年の女性活躍推進法制定や「2020年30%」を目標にした「ポジティブ・アクション」の推進について語られた。また、日本の女性研究者の割合は他のOECD諸国と比較してかなり低いこと、科学技術基本計画において、自然科学系女性研究者の採用目標を設定することで女性研究者の活躍促進を図っていることが述べられた。

## 5 文部科学省による女性研究者支援・養成事業

平成18年度から様々な事業が実施されており、平成27年度からは、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」を実施し、女性研究者のライフイベント及びワーク・ライフバランスに配慮した研究環境の整備や、女性研究者の研究力向上のための取組、及び上位職への積極登用にに向けた取組が行われていることが紹介された。

## 6 文部科学省による事業のこれまでの成果

テニユアのポストに就く女性教員の離職が激減したことは大きな成果であるが、これまでに女性教授の割合が大きく伸びている米国に対して、日本では全分野でも13%であることから、今後への期待を述べられた。

## 7 女性研究者・技術者育成に係る 日本の政策及びプログラム

女性活躍推進のための日本の政策を、内閣府、経済産業省の例などを挙げて紹介された。国際的には、女性取締役比率が高いほどROE(Return On Equity=当期純利益÷自己資本×100(%))も高いことから、日本も女性取締役比率を上げることの重要性を述べられた。

基調講演では、山村氏は、日本と米国のダイバーシティ・マネジメントの比較や、女性研究者育成プログラム、日本におけるダイバーシティの取組等について、豊富なデータをもとにわかりやすく語られ、参加者の中からも日本のダイバーシティの現状と課題について勉強になったという意見が多く聞かれた。

# 各機関の取組紹介

国立大学法人 奈良女子大学  
奈良高専  
武庫川女子大学  
Proassist 株式会社 プロアシスト  
帝人フロンティア株式会社  
佐藤薬品工業株式会社 SATO YAKUHIN KOGYO CO.,LTD.

01 02 03 04 05 06

### ダイバーシティ推進に意欲ある企業の参画

<b>Proassist 株式会社 プロアシスト</b> 女性社員の活躍を促進し、業務効率を向上させる。また、女性社員のキャリアアップ支援を行う。	<b>帝人フロンティア株式会社</b> ダイバーシティ推進のための取り組みを推進する。	<b>佐藤薬品工業株式会社</b> 女性社員の活躍を促進し、業務効率を向上させる。また、女性社員のキャリアアップ支援を行う。
--	--	---

これらの取組は、我々の事業に貢献する女性研究者の活躍を促進し、上位層への登壇を支援する。

### 連携 ⇒ 普及を見据えた環境整備と育成

**研究環境整備**

- ① 「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築\*
- ② 子育て支援の充実・拡充\*
- ③ ライフイベントからの保護支援の充実、研究倫理教育\*
- ④ 研究支援制度の拡充\*
- ⑤ 女性管理職支援制度の構築\*
- ⑥ ワークライフバランス支援制度・制度の充実\*

**研究力向上・リーダー育成・上位層への積極参画**

- ⑦ 共同研究スタートアップ支援の充実\*
- ⑧ 女性社員の育成・研究支援\*
- ⑨ 企業研究者・研究者のキャリアアップ支援\*
- ⑩ アクションプランによる女性研究者の活用\*
- ⑪ 大学院進路選択支援\*
- ⑫ 異分野交流支援\*
- ⑬ 女性管理職育成プログラムの開発\*

**ダイバーシティ実現方策の地域への普及**

- ⑭ 関西圏女子大学ダイバーシティ推進協議会（研究・教育）の発足\*
- ⑮ 成果報告会とテーマ別シンポジウムの開催（例：大学における研究環境の現状と課題）\*

4

5

## 国立大学法人 奈良女子大学

01

春本 見江  
奈良女子大学 副学長(男女共同参画担当)、ダイバーシティ推進センター 副センター長

### 2019年度選定 文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)

奈良から、関西から、元気を全国へ！  
～女性研究者の支援を牽引する私たちの提案～

代表機関 国立大学法人 奈良女子大学

奈良女子大学実施責任者 奈良女子大学副学長(男女共同参画担当) 男女共同参画推進機構長 春本 見江

1

### 「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築(共同で実施)

・奈良女子大学の子育て支援システム(ならっこネット)を拡充  
・アンケート調査(ニーズの把握)

ならっこネット  
本学が開発したWebシステム「Webならっこ」を介して、依頼・支援の管理を行います

利用者 明日、保育園に迎えに行き、大学で預かってください

1 利用者からWebならっこに依頼する  
2 対応可能なサポーターが立候補  
3 利用者からサポーターを選ぶ  
4 当日、担当サポーターが支援を行う。利用者は支援状況をパソコンで確認できる

6

### 病児・病後児保育に関するアンケート調査結果(2019)

Q: 研究・仕事・学業と育児の両立に関して悩むこと、あるいは、かつて子育て中に悩まれたこと

- 1位 子どもの病気で欠勤(欠席)・遅刻・早退をすることがあり、周囲に迷惑をかけてしまう。
- 2位 夜遅くまで残れない。夕刻以降の会議に出席しにくい。
- 3位 子どもと過ごす時間が少ない。
- 4位 研究・仕事・学業の時間が十分に確保できない。

Q: 勤務日(出席日)にお子さんがケガや病気で、保育施設・小学校を欠席することになった場合、どのように対応されているか、あるいはされていたか

- 1位 自分が仕事を休んで看護する。
- 2位 祖父母に預けて看護してもらう。
- 3位 就労している配偶者が休みを取って看護する。

➡ 病児・病後児保育システムの構築が必要

7

### 推進センターを核に女子大等のネットワークも新設

連携機関・協力機関・各種団体・自治体との連携体制

外部評価委員会

推進センター(奈良女子大学学長)

連携機関会議

ダイバーシティ推進センター運営委員会

研究環境支援・研究力強化部門  
キャリア形成・国際力支援部門  
産学連携・産官・産学連携・産学連携

自治体や各地域のファミリーサポートセンター  
病児・病後児保育システム構築  
病児・病後児保育システム構築

関西圏女子大学・奈良高専の大学・高専と関西圏企業における研究環境整備  
高い研究力をもつ女性リーダーの輩出 関西活性化の推進・全国への波及効果

2

### 異なる特色と共通点をもつ3校の連携

<b>奈良女子大学</b> 基本理念として「女子学生が主体的に活躍する人材の育成」を掲げ、国際性、社会性、創造性を重視し、女性の活躍を促進する。	<b>奈良高専</b> 女性の活躍を促進し、業務効率を向上させる。また、女性社員のキャリアアップ支援を行う。	<b>武庫川女子大学</b> 女性の活躍を促進し、業務効率を向上させる。また、女性社員のキャリアアップ支援を行う。
---	---	--

3

### 「訪問型」病児・病後児保育システムのニーズは高い

回答者全体(174名)

- 病児・病後児保育は必要であり、訪問型であれば理想的。
- 病児・病後児保育は必要だが、訪問型でない方法が良い。
- 病児・病後児保育は必要ない。
- わからない。
- その他

子育て(12歳以下)の方(55名)

- 病児・病後児保育は必要であり、訪問型であれば理想的。
- 病児・病後児保育は必要だが、訪問型でない方法が良い。
- 病児・病後児保育は必要ない。
- わからない。
- その他

「訪問型」サポーターが利用者の家に来て、子どもを見る  
「施設型」利用者が子どもを病児・病後児保育施設に連れて来て預ける  
附属病院をもたない大学・研究機関では「施設型」の実施は難しい？

8

### 待望の「訪問型」病児・病後児保育の実現へ

これまでの取組により  
若手女性教員の増加  
病児・病後児保育のニーズも増加

ならっこネット

「訪問型」病児・病後児保育に向けた見直し

- 1 リスク管理を徹底
- 2 サポーターの育成・確保
- 3 医療機関との連携

自治体や各地域のファミリーサポートセンターと連携  
共同実施機関の技術活用

9

### 「訪問型」病児・病後児保育システムの構築に向けて

- 訪問・意見交換
  - 病院や医院付属の病児保育園(複数件)
  - 病児保育を行っているNPO法人
  - (一財)女性労働協会(全国のファミリーサポートセンター運営支援)
  - 病児保育を行っている市のファミリーサポートセンター(複数件)
  - 奈良市こども未来部子ども育成課
- 病児・病後児保育システム構築に向けてのWG(コア)の結成(病児・病後児保育に携わる医師、看護師、保育士等)
- 見守りカメラの設置と使用方法についての検討(プロアシスト)
- 病児・病後児を見ることのできるサポーターの養成

(今後の計画)

- 拡大WG(小児科医、看護師、保育士、弁護士等の専門家を含む)の立ち上げ、リスク等の洗い出し、実施に向けての準備
- 他大学で実施する場合の課題の検討(奈良高専、武庫川女子大)
- シンポジウム「附属病院をもたない研究機関における病児・病後児保育のあり方」令和2年度開催予定

10

### 病児・病後児を預かることのできるサポーターの養成(講座の開催)



講座は共同実施機関、一般人の聴講可(人数制限のある講座も)

11

### ワークライフバランス支援相談室・講座の充実(共同利用)



16

### 連携⇒普及を見据えた環境整備と育成

**研究環境整備**

- 「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築\*
- 子育て支援の充実・拡充\*
- ライフイベントからの復帰支援の充実、研究倫理教育
- 研究支援員制度の拡充
- 女性管理職支援制度の構築
- ワークライフバランス支援相談室・講座の充実\*

**研究力向上・リターン育成・上位職への移行支援**

- 共同研究スタートアップ支援の充実\*
- 女性対象の賞の設立・研究支援\*
- 企業研究者・研究者のキャリアアップ支援\*
- アクションプランによる女性研究者の活用\*
- 大学院進路選択支援
- 異分野交流支援\*
- 女性管理職養成プログラムの開発\*

**ダイバーシティ実現方策の地域への普及**

- 関西圏女子大学ダイバーシティ推進協議会(研究・教育)の発足\*
- 成果報告会とテーマ別シンポジウムの開催 例)大学における病児保育の現状と課題\*

17

### 「訪問型」病児・病後児保育システムの構築に向けて

- 訪問・意見交換
  - 病院や医院付属の病児保育園(複数件)
  - 病児保育を行っているNPO法人
  - (一財)女性労働協会(全国のファミリーサポートセンター運営支援)
  - 病児保育を行っている市のファミリーサポートセンター(複数件)
  - 奈良市こども未来部子ども育成課
- 病児・病後児保育システム構築に向けてのWG(コア)の結成(病児・病後児保育に携わる医師、看護師、保育士等)
- 見守りカメラの設置と使用方法についての検討(プロアシスト)
- 病児・病後児を見ることのできるサポーターの養成

(今後の計画)

- 拡大WG(小児科医、看護師、保育士、弁護士等の専門家を含む)の立ち上げ、リスク等の洗い出し、実施に向けての準備
- 他大学で実施する場合の課題の検討(奈良高専、武庫川女子大)
- シンポジウム「附属病院をもたない研究機関における病児・病後児保育のあり方」令和2年度開催予定

12

### 連携⇒普及を見据えた環境整備と育成

**研究環境整備**

- 「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築\*
- 子育て支援の充実・拡充\*
- ライフイベントからの復帰支援の充実、研究倫理教育
- 研究支援員制度の拡充
- 女性管理職支援制度の構築
- ワークライフバランス支援相談室・講座の充実\*

**研究力向上・リターン育成・上位職への移行支援**

- 共同研究スタートアップ支援の充実\*
- 女性対象の賞の設立・研究支援\*
- 企業研究者・研究者のキャリアアップ支援\*
- アクションプランによる女性研究者の活用\*
- 大学院進路選択支援
- 異分野交流支援\*
- 女性管理職養成プログラムの開発\*

**ダイバーシティ実現方策の地域への普及**

- 関西圏女子大学ダイバーシティ推進協議会(研究・教育)の発足\*
- 成果報告会とテーマ別シンポジウムの開催 例)大学における病児保育の現状と課題\*

13

### 共同研究スタートアップ支援の充実

- 共同実施機関の間での共同研究の実施
- 女性研究者が代表者となり、共同実施機関の研究者と共同研究を行うときのスタートアップ経費を支援
- 令和元年度は、奈良女子大学の女性研究者が代表者となった2件の共同研究プロジェクトを採択
- 令和2年度からは、奈良高専、武庫川女子大と連携して募集予定

18

### 特に優秀な女性対象の賞の設立・研究支援(共同で行う取組)

- 令和元年度は2名の女性教員が「女性研究者賞」を受賞
- 令和2年度からは、奈良女子大、奈良高専、武庫川女子大が共同で募集予定



19

### 研究支援員制度の拡充

- 教育研究支援員制度はすでに実施
- 研究支援を拡充し実施 2019年度 12名の教員の研究を支援(補助金)
- 病気・怪我が理由の教員にも拡充し実施 2019年度 1名の教員を支援(自主経費)
- 支援員制度は、奈良高専、武庫川女子大でも実施

14

### 研究支援員制度

出産・育児・介護

研究活動の支援

双方のキャリアアップ

キャリア形成支援

女性研究者 (男性研究者も配偶者が研究者である場合は適用)

研究支援員



15

### 特に優秀な女性対象の賞の設立・研究支援(共同で行う取組)

- 研究力向上セミナーの開催「科研費獲得に向けて」(9/25)
- 「研究のための英語力強化講座」プレゼンテーション研修(3/2-3/2)スピーキング研修(3/10-3/11)



20

### 大学院進路選択支援

- 入口(大学院への進学支援)と出口(キャリア形成支援)の充実
- 大学院ドクターコース進学説明会(1/27)
- キャリア形成支援自己分析セミナー
- C-ENGINE(産学協働イノベーション人材育成協議会)と連携して、研究インターンシップの実施

21

**「ポストドクター・キャリア開発」(H23~H27) S評価 女性研究者の裾野拡大のためのキャリア支援の充実**

**キャリア開発本部の設置**

全国の54名の女性ポストドクター(文系34人、理系20人)をインターンシップへ

キャリアパスの拡大と一人ひとりを大切にするキャリア開発システム

ライブステージに注籍した、最も「研究者個人の経歴」で取り組んだ大学

「自己分析セミナー」で自己のキャリアを考えるきっかけを再えたユニークな取り組み

終了後：平成28年 産学協働イノベーション人材育成協議会(C-ENGINE)に加入

**活かせる持ち味**

- インターンシップに関する経験
- コーディネートの実績
- 女性博士人材の個性を尊重した対応力

**C-ENGINEで**

●リーディング企業とのパイプ

●大学の連携

●博士前期課程へ対象拡大

平成27年度から実施 博士キャリア開発(DC)支援制度：博士後期課程学生・博士後期課程の就職活動、学会発表の交通費支援

22

**令和元年度 C-ENGINE 研究インターンシップ実績**

所属	インターンシップ先	実施期間	テーマ
数理学部専攻 (物理学科)	M3 (株) リコー リコーテクノロジセンター (株)岡山	7/19~7/26	クラウドベースのAI/ML・アプリケーションソフトウェアの開発
数理学部専攻 (数学学科)	M1 (株) リコー リコーテクノロジセンター (株)岡山	8/26~9/27	画像によるトレンド分析
化学系専攻 (化学専攻)	M2 (株) 船場エスデック (株)船場エスデック (株)船場	5/2~5/27	自動車部品設計の業務
数理学部専攻 (物理学科)	M1 ダイキン工業 (株) 株式会社 (株)	9/3~9/27	本邦初の空調用圧縮機用トランスミッションに関する構造設計
工学部専攻 (機械系)	M1 清水建設 (株) 株式会社 (株)	10/28~11/29	「本邦パイプライン建設用高圧メソッド実用化」への技術的貢献と手続に関する検討・構造設計に関する業務
工学部専攻 (機械系)	M1 (株) 竹中工務店 株式会社 (株)	10/28~11/15	ADW(活動型)における活動型研修 Activity Based Working
生活工学部専攻 (生活工学)	M1 住友電気工業 (株) 住友電気工業 (株)	10/28~12/26	作業行動の拡大と転
数理学部専攻 (物理学科)	M3 三菱電機 (株) 株式会社 (株)	11/3~12/6	産業イノベーションの推進に関する業務
数理学部専攻 (物理学科)	M3 三菱電機 (株) 株式会社 (株)	11/6~12/5	クラウドシステムでの活動型研修の開発
工学部専攻 (機械系)	M1 (株) リコー リコーテクノロジセンター (株)岡山	11/7~12/11	画像処理技術の開発
数理学部専攻 (物理学科)	M3 三菱電機 (株) 株式会社 (株)	12/7~12/13	高圧電圧センサの開発
数理学部専攻 (物理学科)	M2 (株) マニフアクチャリング マニフアクチャリング (株)	1/26~2/21	生産活動で発生するデータの収集、AI・ビッグデータ解析に活用する業務の最適化とデータ駆動型システムの構築

23

**奈良工業高等専門学校**

02

松村 寿枝

奈良工業高等専門学校  
教授・男女共同参画推進委員会委員長

1

～令和元年度科学技術人材育成費補助事業～  
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ【牽引型】  
奈良工業高等専門学校の取り組み

奈良工業高等専門学校 情報工学科 教授  
男女共同参画推進委員会委員長  
松村 寿枝

**意識啓発活動 管理職向けFD研修会**

講師：佐々木常夫氏

「管理職に望むこと  
—ダイバーシティ環境を推進するために—

3月25日(水) 13:00-14:30  
場所：奈良女子大学 S235教室

佐々木常夫氏プロフィール：秋田市生まれ '69年東京大学経済学部卒業後、東レ株式会社に入社  
自閉症の長男を含む3人の子どもの世話と肝臓病とうつ病に罹り入院を繰り返す妻の世話に忙殺される中でも仕事への情熱を捨てず、事業改革に全力で取り組む 東レ3代の社長に仕えた経験から独特の経営観を持つ 2011年ビジネス書最優秀賞を受賞  
「ワーク・ライフ・バランス」のシンボリック存在とされている

24

**連携⇒普及を見据えた環境整備と育成**

**研究環境整備**

- ① 「担い手」育成・再発育支援システムのモデル構築\*
- ② 子育て支援の充実・拡充\*
- ③ ライフイベントからの支援体制の充実、研究環境教育
- ④ 研究支援員制度の拡充
- ⑤ 女性管理職支援制度の構築
- ⑥ ワークライフバランス支援制度・課室の充実\*

**研究力向上・リーダー育成・上位輩への橋渡し**

- ⑦ 共同研究スタートアップ支援の充実\*
- ⑧ 女性対象の費の設立・研究支援\*
- ⑨ 企業研究者・研究者のキャリアアップ支援\*
- ⑩ アクションプランによる女性研究者の就業\*
- ⑪ 大学教員職階別支援
- ⑫ 異分野交流支援\*
- ⑬ 女性管理職養成プログラムの開発\*

**ダイバーシティ実現方策の地域への普及**

- ⑭ 産学連携大学ダイバーシティ推進協議会(産学-社会)の発足\*
- ⑮ 産学連携会とテーマ別シンポジウムの開催 (例：大学における研究環境の向上と課題)\*

25

**高専機構 ダイバーシティ推進宣言**

私たちは、多様な一人ひとりの尊厳を尊重し、性別、国籍、人種、年齢、障がいの有無、宗教や文化的背景、性的指向や性自認、その他の属性や状況にかかわらず、人がその能力を十分に発揮して、相互に尊重し、活躍できる社会環境を希求します。

そして、次代を担う創造的で実践的な技術者の育成という、私たちの役割を果たす中で、そうした社会環境の実現に貢献します。 令和元年6月3日

独立行政法人国立高等専門学校機構 理事長

2

**男女共同参画の取組**

奈良高専 男女共同参画推進委員会 (H24年～、H30年より委員会)

【目的】  
男女共同参画推進活動を継続的に発展させるための方策検討と実現のための諸活動

男女共同参画推進とは、  
「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」  
(男女共同参画社会基本法第2条)  
[http://www.gender.go.jp/about\\_danjo/society/index.html](http://www.gender.go.jp/about_danjo/society/index.html)

3

**奈良から関西から 女性研究者の支援を牽引**

女性研究者のキャリア支援  
研究力向上への支援

News

Event

26

**奈良から、関西から、元気を全国へ!**

量的向上 質的向上 真のダイバーシティ推進

全国的な中小規模の大学・企業において  
**実施可能な取組モデル提供**

代表機関・共同実施機関の特性と多様性を活かす

女性の登用 研究力向上 研究環境整備

奈良女子大学  
奈良高専  
武庫川女子大学  
フロアシスト  
佐藤食品工業  
帯人フロンティア

27

**男女共同参画の取組**

高専教員職体験(インターンシップ)・・・女性優先(男性可)

女子学生のキャリア教育・女子中学生に対する広報

- ✓ 女子中学生・保護者向けリーフレット(折りパンフレット)印刷・配布
- ✓ 高専女子フォーラムin関西
- ✓ 学校入試説明会での女子中学生何でも相談コーナー
- ✓ 近畿地区高専(明石・近大・鈴鹿・舞鶴)との交流会

4

**男女共同参画の取組**

男女共同参画推進啓発活動

- ✓ 奈良高専男女共同参画推進委員会ホームページの更新・継続運用
- ✓ ワークライフバランスに関する講演会実施

女性教員・女子学生のための環境改善

- ✓ 女子学生および女性教職員対象にランチミーティング
- ✓ 意見を取り入れ環境改善に取り組む

ダイバーシティ事業の実務・・・男女共同参画推進委員会

5

### 補助事業

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）  
～文部科学省科学技術人材育成費補助事業～

代表機関 奈良女子大学様  
共同実施機関 武庫川女子大学様、株式会社プロアシスト様  
佐藤薬品工業株式会社様  
帝人フロンティア株式会社様

実施期間：2019年度から2024年度

6

### 事業目的

▶ 事業目的  
研究環境の整備  
女性研究者の研究力向上  
女性研究者の裾野拡大

全体の取り組み

- ▶ 「訪問型」病児・病後児保育システムの構築
- ▶ 研究者間の後援支援
- ▶ 産学連携での女性研究者の共同研究を促進するための交流会
- ▶ 企業内研究者・技術者のキャリアアップ支援
- ▶ 女性教員管理職養成のためのプログラムの開発
- ▶ 意識改革のための管理職向け研修会

～奈良から関西圏、日本全国へ波及させる  
全国の女子大学、工業高等専門学校へ波及させる

→ 奈良高専の具体的な目標と取組は？

7

### ダイバーシティ研究環境整備のための取組

(I) 研究支援員制度  
きららか研究支援員制度  
育児中の女性研究者・若手研究者に対し、研究支援員を配置  
→R1年度実績 7名配置

(I) 「訪問型」病児・病後児保育システムに対するニーズ調査。

12

### 女性研究者の研究力向上のための取組 リーダー育成のための取組

(II) リーダー育成セミナー  
きららかセミナー（リーダー養成）

研究力向上およびリーダー養成のため本校女子学生、奈良県周辺地域企業、連携機関向けのリーダー養成セミナーを開講

13

### 国立高専と奈良高専の現状

教員の男女比（令和元年5月1日現在）

	校長		教授		准教授		講師		助教		助手	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
合計	49	2	1424	65	1235	196	226	67	303	75	3	1
奈良高専	0	1	26	2	26	4	5	3	8	0	0	0
女性比率	3.9%		4.3%		13.7%		22.9%		19.8%		25.0%	

↓

	国立高専	奈良高専
教員合計	11.1% (13.3%)	21.3% (18.0%)
事務職員	34.8% (44.1%)	専攻科 11.8% (8.3%)
技術職員等	19.7% (25.0%)	

高専の中では  
教職員では全国平均より女性が多いが、女子学生は少ない

8

### 目標 (R1年度)

- (1) ダイバーシティ研究環境整備
- (2) 女性研究者の研究力向上の取組とリーダー育成
- (3) 女性研究者の上位職への積極登用
- (4) ダイバーシティ研究環境実現方策の地域への普及

9

### 女性研究者の研究力向上のための取組 リーダー育成のための取組

第1回きららかセミナー  
「AI時代到来 社会やビジネスにおいて、AIで何が出来るか？」  
講師：DATUM STUDIO株式会社  
取締役副社長 里洋平氏

令和2年1月20日（月）16：30～18：00  
場所 地域創生大講義室

参加者 男性28名、女性17名 計45名

14

### 女性研究者の研究力向上のための取組 リーダー育成のための取組

(II) 女性教員の研究費支援  
→R1年度実績 3名に配分

(II) 意識啓発のセミナー・講習会 開催  
「ワークライフバランス」  
日時 令和元年12月4日（水）13:30～14:30  
講師 同志社女子大学現代社会学部 助教 小宅理沙氏  
参加者数 教職員27名  
※第三ブロックの高専へTeamsによる配信を実施

15

### 目標と取組 (R1年度)

目標	取組	進捗状況	達成状況
(I) 研究支援員制度	①	◎	◎
(II) リーダー育成セミナー	②	◎	◎
(II) 女性教員の研究費支援	③	◎	◎
(II) 意識啓発のセミナー・講習会	④	◎	◎
(III) 上位職登用のための具体的な計画を立案	⑤	◎	◎
(IV) 各種イベントでの広報	⑥	◎	◎
(IV) Webでの情報発信	⑦	◎	◎

10

### 事業実施体制 (R1年度)

事業項目	担当責任者
(1) ダイバーシティ研究環境整備のための取組	男女共同参画推進委員会委員長
(2) 女性研究者の研究力向上のための取組とそれを通じたリーダー育成のための取組	女性エンジニア養成推進センター長 男女共同参画推進委員会委員長
(3) 女性研究者の上位職への積極登用に向けた取組	校長 副校長/教務主事
(4) ダイバーシティ研究環境実現方策の地域への普及のための取組	男女共同参画推進委員会委員長 広報センター長 産学連携研究センター長

11

### 女性研究者の研究力向上のための取組 リーダー育成のための取組

(II) 意識啓発のセミナー・講習会 参加

- ▶ ダイバーシティシンポジウム（高専機構主催：8月21日）
- ▶ 全国ダイバーシティネットワーク組織近畿ブロック開催の第1回セミナー（9月5日）
- ▶ 全国ダイバーシティネットワーク組織近畿ブロック第2回セミナー（9月17日）

16

### 女性研究者の研究力向上のための取組 リーダー育成のための取組

(II) 意識啓発のセミナー・講習会 参加

- ▶ IEEE Kansai WIEシンポジウム2019（9月28日）
- ▶ 全国ダイバーシティネットワーク2019年度近畿ブロックシンポジウム（11月21日）
- ▶ 全国ダイバーシティネットワーク第3回近畿ブロックセミナー（2月18日）

17